

* 東京天文台の60m 鉄塔の検証 その10、夜空に見える60m 鉄塔の写真

アーカイブ室新聞172号から、173、174、177、178、181、182、191、192号の9号にわたって東京天文台にあった世界の報時信号受信用の60m鉄塔の検証記事を書いた。今回は、観測しているドームと一緒に写った60m鉄塔が写っている珍しい写真を発見した。レプソルド子午儀を駆使して観測をしていた辻光之助氏のご子息から提供された大量の写真の1枚である(写真1)。なんと観測中の26吋屈折望遠鏡、ゴーチェ子午環、レプソルド子午儀の観測室の明かりが見え、レプソルド子午儀のすぐ左に60m鉄塔が聳えているのである。



写真1 東京天文台の夜景

写真1は、アーカイブ室新聞172号の写真1(この号の写真2)と同じ場所、すなわち塔望遠鏡のテラスから撮影されたものと思われるが、苗木の育ち具合からそれより古いものと思われる。また、26吋屈折望遠鏡ドーム南側に2個ある水ダムの左側には覆いの屋根がある。このような夜間の写真は非常に珍しく、初めて見るものである。それにしても夜空にくっきりと60m鉄塔が立っている貴重な証拠写真である。辻光之助氏のご子息から提供された大量の写真のなかに東京天文台の夜景の写真は、この写真2と、次の写真3の2枚だけであった。写真3は26吋屈折望遠鏡ドームの東側から撮影されたようである。恐らく同じ日に撮影されたものであろう。これらの写真の夜空に星のようなものが写っているが、それらを検証していないが、これらの写真は地上の景色から赤道儀での追尾はないから、これほどの星が写るとは思えないので、星空ではないと思われる。

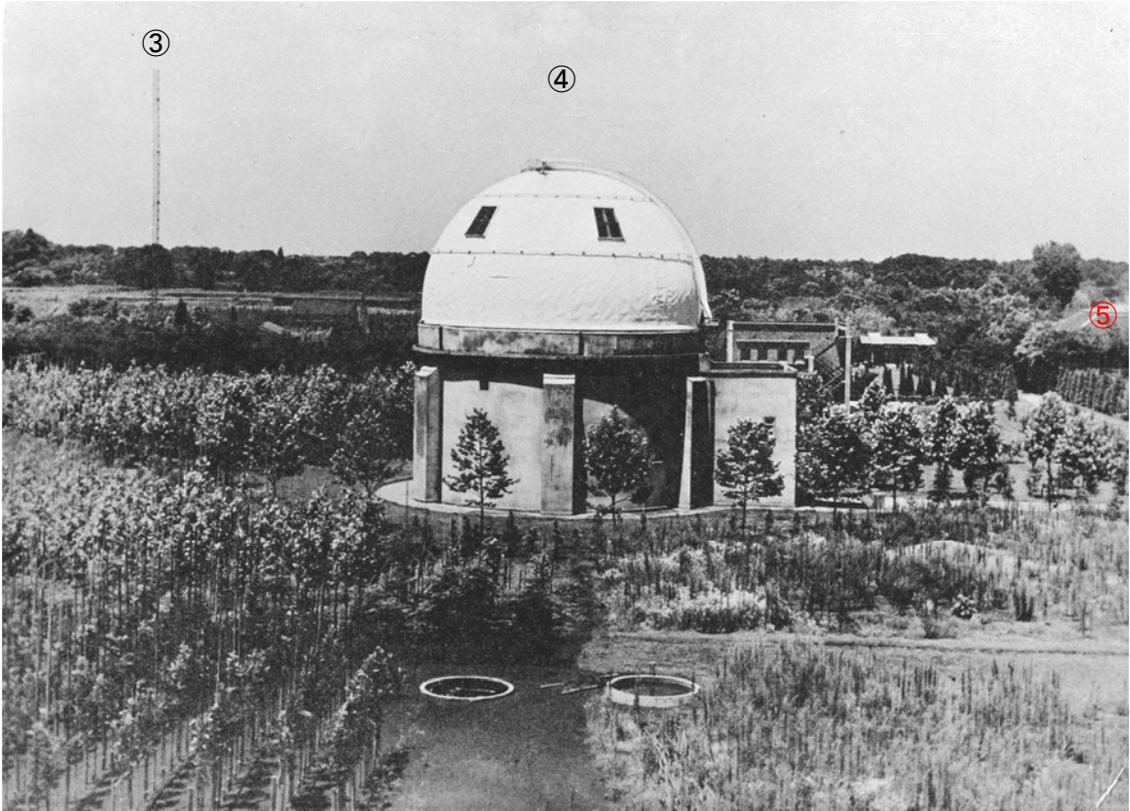


写真2 塔望遠鏡テラスからの眺め



写真3 昔の天文台の夜景2